

保母養成所の問題

保育報國の念に燃えて、本號の大部をこの問題の爲に盡す事に致し、全國各地の保母養成所宛てこの問題に就ての御意見を伺ひましたところ、學年末、學期始の御多忙の折柄にもかゝはらず、左の諸先生方の尊い御玉稿をいたゞく事が出来ました。一つ々々拜見して、この問題についての重大なる示唆を受けないでは居られません。御寄稿いたゞきました諸先生方に對し厚く御禮を申上げます次第でござります。（氏名イロハ順）

筵一枚で保育する人

これぞ日本の現に求むる人

平安女學院專攻部保育科 早川喜四郎

幼児の教育が本當になさるなら日本はます／＼スバラシイものになる。それだけ其の逆もまた眞である。おろそかに、歪められて幼児が教育されるなら——想ふだに寒心である。このことは實にアタリマへすぎるこゝながら、しかしアタリマへすぎるほゞアタリマへである故に、國運が一にかゝつて幼児の教育にある云つても、決して大袈裟すぎはしない。私はよく保母方にまた保育科生達にまた母達に此の事を言ふ。そして「保育報國」をおもふいま、ます／＼此の事を世の凡